

令和7年度弘前大学COI-NEXT倫理審査委員会

第2回NEXT-DB利用研究審査 議事要旨

日 時： 令和7年12月3日（火）9：00～10：10
場 所： 遠隔会議システムを利用したビデオ会議
出 席 者： 神里委員長
三浦、洪、小賀野、永田、藤吉、玉田、岩根、石田、太田、庄司、福士
の各委員
欠 席 者： なし
陪 席 者： 弘前大学副学長 / 健康未来イノベーション研究機構長 村下教授
弘前大学 / 弘前大学COI-NEXT倫理審査委員会事務局 齋藤特任助手、
倉内特任助手、佐藤事務補佐員
国立成育医療研究センター / 弘前大学COI-NEXT倫理審査委員会事務局
高橋研究員、丸山研究補助員、上村研究補助員

1. ご挨拶（弘前大学副学長 / 健康未来イノベーション研究機構長 村下教授）

村下弘前大学副学長/健康未来イノベーション研究機構長より、本委員会開催への謝辞
と、今回の審査についても委員の皆様のお力をお借りしたい旨のご挨拶があった。

2. 申請書類の説明（事務局）

事務局より、審査に先立ち、申請書類（項目リスト）の見方について説明があった。

3. 倫理審査

1) HCN2025-15

「健康基盤モデルの構築」

（申請者：京都大学医学研究科・教授・奥野恭史）

（審査依頼：弘前大学）

研究分担者である内野詠一郎京都大学大学院医学研究科特定准教授より、本研究の概要
についての説明がなされ、その後、解析のターゲットとなる主要疾患とそれに用いる検査
項目、申請書に記載の文言について質疑があった。

委員長から、NEXT-DBにおけるゲノムデータの管理について、補足説明があった。

審議の結果、「承認」とするが、以下の点の修正を求めるとした。

- ・研究計画書とオプトアウト文書において、用いるSNPデータが岩木健康増進プロジェクト健診のデータであることを追記すること
- ・研究計画書「4 方法 2) データの入手・管理」に記載の「前述の手順」について、詳細を記載すること
- ・研究計画書において、解析のターゲットとなる主要疾患とその検査項目の具体例を
例示すること
- ・オプトアウト文書「6 データの提供・利用目的」の利用目的について、研究参加者

に分かりやすいうように修正すること

なお、本研究の関係者である玉田委員と村下弘前大学副学長/健康未来イノベーション研究機構長は、本件の審議・採決に不参加であった。

2) HCN2025-17

「岩木地域及びやんばる地域における 14 疾患の有病率・要因比較および地域特化型予測モデルの検討」

(申請者：公立大学法人名桜大学・学長・砂川 昌範)

(審査依頼：弘前大学)

研究分担者である本村純名桜大学教授より、本研究の概要についての説明がなされ、その後、研究課題名にある「14 疾患」の具体的な疾患名について質疑があった。

審議の結果、「承認」とするが、以下の点の修正を求めるうこととした。

- ・研究計画書とオプトアウト文書に、「14 疾患名」の具体的な疾患名を記載すること

なお、本研究の関係者である玉田委員と村下弘前大学副学長/健康未来イノベーション研究機構長は、本件の審議・採決に不参加であった。

3) HCN2025-14

「日本人における認知機能と食事パターンの関連性に関する疫学的研究」

(申請者：東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター・教授・井元清哉)

(審査依頼：弘前大学)

申請者である井元清哉東京大学医科学研究所教授と、研究分担者である佐藤憲明東京大学医科学研究所助教より、本研究の概要についての説明がなされた。

審議の結果、「承認」とするが、以下の点の修正を求めるうこととした。

- ・オプトアウト文書「6 データの提供・利用目的」の利用目的について、研究参加者に分かりやすいうように修正すること

なお、本研究の関係者である玉田委員は、本件の審議・採決に不参加であった。

4) HCN2025-12

「AI/機械学習による健康寿命の規定因子の探索と地域差の評価」

(申請者：京都府立医科大学大学院医学研究科・教授・的場聖明)

申請者である的場聖明京都府立医科大学教授と、研究分担者である西真宏京都府立医科大学併任助教より、本研究の概要についての説明がなされた。

審議の結果、「承認」とするが、以下の点の修正を求めるうこととした。

- ・オプトアウト文書「6 データの提供・利用目的」の利用目的について、研究参加者に分かりやすいように修正すること

5) HCN2025-10

「若年性サルコペニアを見つける新たな判定基準および指標の検討」
(申請者: 弘前大学大学院医学研究科・特任助教・田中 吏)

委員長より、本研究の概要と再審査の経緯についての説明がなされた。

審議の結果、特に問題等の指摘はなく「承認」とした。

なお、本研究の関係者である玉田委員と村下弘前大学副学長/健康未来イノベーション研究機構長は、本件の審議・採決に不参加であった。

事務局に対し、委員から以下の指摘があった。

- ・研究計画書「4 方法 1) 用いるデータ」に記載の「和歌山医科大学」を正式名称「和歌山県立医科大学」に修正すること。

以上